

愛看アラムナイニュース 第4号

2025年9月20日



令和7年度 愛看アラムナイ通常総会をおよび教育講演が開催されました

令和6年度 卒業式・修了式が挙行されました

令和8年3月28日（土）愛看アラムナイ設立10周年等周年記念パーティーのご案内

愛看アラムナイ 令和6・7年度理事紹介

役割	氏名	出身	現在の所属
理事長	石光 芙美子	看護大学/ 看護大学大学院 修士課程	愛知県立大学 看護学部
副理事長	河邊 紅美	県立大学大学院 博士前期課程	愛知県立大学 看護学部
	渡邊 直美	看護短期大学/ 県立大学大学院 博士前期課程	日本赤十字 豊田看護大学
会計	籠 玲子	看護大学	愛知県立大学 看護学部
	長谷部七重	看護大学/ 県立大学大学院 博士前期課程	愛知県立大学 看護学部
理事	兒玉 善明	看護大学/ 県立大学大学院 博士前期課程	愛知県立大学 看護学部
	汲田 明美	県立大学大学院 博士前期課程	愛知県立大学 看護学部
会計監査	吉田 彩	県立大学大学院 博士後期課程	中京学院大学 看護学部
	勝村 友紀	県立大学大学院 博士前期課程	愛知県立大学 看護学部

※加藤宏公理事は、8月1日付で理事を退任されました。

理事長挨拶 石光 芙美子

会員の皆さまにおかれましては、日ごろより愛看アラムナイへのご支援、ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

1971年に設立された愛知県立看護短期大学同窓会が55年の時を経て、2026年には愛看アラムナイ設立10周年を迎えます。この節目の年に理事長としてたずさわらせていただきながら、4年前に理事に着任して以降、ずっと脳裏に浮かぶ疑問に答えを見出せないか考えてきました。それは半世紀以上続いてきた本同窓会の意義についてです。

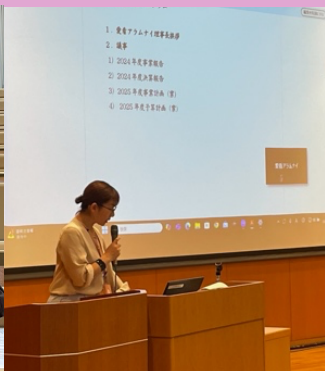
先日、周年記念事業の準備をしていた折、県立看護大学初代学長の故・波多野梗子先生が『愛知県立看護大学史』に寄せられた言葉が目に残りました。

「看護職のような専門職業人の教育を荷なう大学はただ卒業生を送り出せばそれでよいというわけにはいかない。日常の仕事にやりがいを持ち、バーンアウトすることなく、一生の仕事として看護職をつづけていくには、大学は卒後教育において支え続けていくことが必要である。」と。

看護学に希望を抱き、同じ学び舎で切磋琢磨し励んだ同期の存在や大学院時代に巡り合えた仲間、そしていつまでも「先生」とお慕いできる恩師の存在は、自ら看護職として務めを果たしていく上でかけがえのないものです。世代を超えてこれらを繋ぐ拠りどころが同窓会にもあるのであれば、そこには卒後教育へと進むきっかけも内包しているように思います。2026年3月の周年記念パーティーでは会員の皆さまの想いにも触れ、これからの時代に必要とされる同窓会について、模索する機会にもしていきたいと思います。



令和 7 年度 愛看アラムナイ通常総会が行われました



総会・教育講演の様子

昨年に続き、看護学部祭・ホームカミングデーと同日開催で賑やかなキャンパスでした

令和 7 年度

愛看アラムナイ通常総会および教育講演の内容

日時：令和 7 年 6 月 14 日（土）

総会 13 時 00 分～13 時 30 分

教育講演 13 時 40 分～14 時 40 分

場所：愛知県立大学守山キャンパス 講義棟 6 階大講義室

参加者：通常総会 正会員 48 名(新卒者 24 名, 理事 10 名含む)

教育講演 正会員 24 名（オンライン参加者 2 名含む）

【総会議事】

1. 2024 年度事業報告について
2. 2024 年度決算報告および会計監査について
3. 2025 年度事業計画（案）について
4. 2025 年度予算計画（案）について

【教育講演】

講 師 百瀬由美子 氏

愛知県立大学名誉教授 日本赤十字豊田看護大学学長

テーマ「認知症ケアにおける倫理」

身体拘束最小化の取り組みが急務の中、看護倫理の知識を復習しながら、認知症の特徴を踏まえた認知症の人への向き合い方について、丁寧に分かりやすい講演をいただきました。

昨年に引き続き懇親会を開催しました！

教育講演後、中講義室 2 で軽食を楽しみながら懇親会を開催しました。学内の先生方も加わり、総勢 26 名が参加され、百瀬先生を囲んで、懐かしい話が花が咲きました。また、年代の違う会員同士の情報交換の場にもなりました。



令和 7 年度 愛看アラムナイ通常総会

教育講演に参加して

2001 年度 看護学部 卒業生 S.I.さん

今回初めて百瀬先生のご講演を聞く機会を得たことを大変嬉しく思います。私は小児看護を専門としてますが、認知症と発達障害の方との関わりにおいて、その方の経験をありのまま受け止め不安の少ない環境を整えていくという点で共通していると感じました。また、病気ではなく自分を見てほしいという当事者の声が印象的であったと同時に、それが満たされていない現状があることを知りました。その中で看護師としてジレンマを感じながら患者さんと向き合われているという会場の意見を踏まえて、百瀬先生からの具体的なアドバイスを聞いたことがとても有意義でした。貴重な講演ありがとうございました。

2023 年度 看護学部 卒業生 Y.O.さん

私は 2 年前に看護学部を卒業し、今は 2 年目看護師として病院に勤務しています。今日は大学の時にお世話になった先生とお会いでき、懐かしい気持ちになりました。百瀬先生のご講演からは認知症を持つ方々への対応を改めて考える貴重な機会となりました。学生ではなく、看護師となった今だからこそ、認知症のある方であってもその人らしく生きていくことができる看護を提供したいと思いました。

看護師としての経験はまだまだ浅いので、これから臨床の場で学び続けながらどのように看護に関わっていくのかを考えていきたいです。

2020 年度 看護学部 卒業生 K.K.さん

卒業後初めて、愛看アラムナイの通常総会・教育講演・懇親会に出席させていただきました。恩師や同級生と久々にゆっくり話ことができ、また多方面で活躍されている先輩方とも交流を深めることができ、とても貴重な時間を過ごせました。百瀬由美子先生による教育講演では、認知症患者が抱える思いや、認知症患者と関わる看護師が持つべき視点・考え方を講義してくださり、日々の看護を見つめ直す良い機会となりました。このように卒業後も母校に帰る機会をつくってくださっている愛看アラムナイの理事の皆様、同窓生の皆様に心より感謝申し上げます。卒業生として、いつか母校に恩返し、貢献ができるよう、今後も看護師として努力を重ねていきたいです。

令和 6 年度 卒業式が 3 月 20 日（祝・木）に行われました



卒業・修了生から、在学中の思い出や
今後の抱負についてメッセージを頂
きました。

I・Cさん（博士前期課程修了生）

私は助産師資格を取得するため、大学院に進学しました。分娩介助だけでなく、不妊治療や家庭訪問など、助産師としての多様な働き方を目にし、視野を広げることができた 2 年間でした。講義や実習と並行して研究も行う必要があり、大変な時期はもちろんありました。しかし、同じ夢を持つ仲間と支え合い、些細な喜びを分かち合った日々は、想像していた大学院生活より何倍も楽しく、一生忘れることはありません。優しく見守りながらも背中を押してくださった先生方、素敵な先輩、後輩、大学院生の方々にも感謝の気持ちでいっぱい。妊娠・出産の喜びはもちろん、辛さや悲しみを抱える女性にも寄り添い、支えられる助産師に成長していきたいです。

K・Aさん（博士前期課程修了生）

2 年間の学びの中で、母子を支える助産師の責任の大きさを感じるとともに、自分自身の課題と向き合う機会を多くいただきました。理想と自身の現状とのギャップに悩むこともありましたが、先生方の丁寧な指導や、実習や研究において関わってくださった対象者の皆様、同期・先輩後輩・他領域の同級生の皆さんの存在に支えられました。今後は、これまで関わってくださった方々への感謝を忘れず、理想とする助産師像を目指して頑張っていきたいです。



H.K.さん（学部卒業生）

愛知県立大学看護学部での 4 年間の学生生活は、本当にあっという間でした。進級する度に友人と「来年から実習だね。」「来年から国試だね。」と緊張しながら話していた日々を今でも覚えています。特に思い出に残っているのは、臨地実習です。一人ひとりの患者さんを目の前にして初めて、看護における個性の重要性を学び、看護を提供することの楽しさを知ることができました。また、様々な領域の間で看護展開の違いを経験できたことも、貴重な学びです。座学、実技演習、定期試験、実習、卒業研究、国家試験と 4 年間でたくさんのことが詰まっているからこそ、忙しく大変な時期も多々ありました。もちろん思い通りにいかないことも…それでも乗り越えてこられたのは、周りにいた友人や家族、親身に寄り添ってくださった先生方、実習で出会った患者さん、看護師さんたちのおかげだと心から感じています。これから、私は患者さんと現場と一緒に働く人に対して誠実に向き合い続ける看護師を目指そうと思っています。

H・H（学部卒業生）

大学生活を通して大変だったと感じることは授業での演習や実習です。看護師に必要な技術を身に付ける為に手順を覚え何度も復習したり、実習では現場で新たに得る知識も多い中で、患者さんにとって必要な看護を一生懸命考え、行っていました。

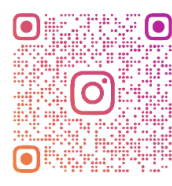
そんな中でも友達の存在はとても大きかったと思います。グループワークや実習は毎回違うメンバーで構成されますが、どのメンバーとも協力し合い、チームとして乗り越えていけることに喜びを感じていました。卒業後も遊びや旅行に行ける大切な友達が沢山できました。私は卒業後病院で働きますが、大学での経験を通して、患者さんと一緒に働く仲間から信頼される看護師になりたいです。患者さん一人一人の思いを汲み取り、個性を大切に、信頼関係を築いた上で看護を提供していきたいです。また看護師として責任感を持ち、仲間とのチームワークを大切に働いていきたいです。

S・Rさん（学部卒業生）

大学生活では臨地実習が最も印象的でした。様々な疾患のある患者さんやその病棟に勤める看護師の方と関わる機会を実習でしか経験できない為、看護師として働く上で必要な倫理観や知識を習得することができたと感じています。しかしそれと同時に男性として看護師という職業に就く難しさにも直面しました。信仰・宗教的に配偶者以外の男性に肌を見せることのできない外国籍の患者さんや女性の患者さんから男性という理由で受け持ちを断られることは、この職業を目指す男性だからこそ体験であったと感じます。しかしこのような患者さん側の要望を学生のうちに経験できたことを良い経験と捉え、患者さん 1 人 1 人に適切な配慮をしながら、看護が行えるような看護師になりたいと思います。

**Instagram
Face Book 随時
更新中！**

より多くの学生会員・正会員の皆さまに愛看アラムナイの“今”をとどけるため、様々な情報を発信していきます！周年記念パーティー関連の情報も随時更新していきます！！ぜひ、フォロー・イイね！をよろしくお願い致します！



ICAN_ALUMINI_KOUHOU



**令和 8(2026)年に愛看アラムナイ設立 10 周年および
愛知県立看護短期大学同窓会設立 55 周年記念式典 を開催いたします**
日時：2026 年 3 月 28 日（土）11 時 30 分～13 時 30 分
場所：名古屋マリオットアソシアホテル

一足先に、パーティーにご参加下さる予定の先生方を訪問しました！！

現在勤務されている東海学園大学に訪問しました。27 歳から 27 年間、愛知県立看護短期大学、愛知県立看護大学、愛知県立大学看護学部で勤務され、現在も看護学研究科で外部講師として講義を担当されています。訪問すると当時と変わらない元気なお姿で迎えてくれました。現在の研究室には当時の卒業アルバムが並んでいて、アルバムを広げながら当時の思い出などを交えつつ在職時の看護学生に対する思いや教育についてお話くださいました。（訪問時の詳細は 2026 年 3 月発行 全学同窓会会報を参照ください。）



金尾洋二先生（体育）

全学同窓会会報「恩師を訪ねて」の企画で、このたびお話を伺う機会をいただきました。

1984 年に愛知県立看護短期大学に着任（小児看護学）され、愛知県立看護大学、県立大学看護学部、看護学研究科と、31 年間にわたる教育者としての務めを果たされた先生の語りには、その当時の社会背景や看護教育の大学化という流れの中、本学看護学部の「人を育てる」教育を信念に、より良い教育をめざし果敢に取り組んでおられた想いがあふれており、終始、心が揺さぶられた対談でした。（訪問時の詳細は 2026 年 3 月発行 全学同窓会会報を参照ください。）



山口桂子先生（小児看護学）



山田聡子先生（基礎看護学）

1996 年に愛知県立看護大学に着任（基礎看護学）され、当時、看護学を教えてくださいました先生の中でもお姉さんのような存在のまま、突然の訪問にも当時と変わらぬ優しい笑顔で迎えてくださいました。看護教育は 10 年先を見据えて行う必要があること、その成果は卒業生がもたらしてくれるものでもあること、当時、先生がおっしゃっていた言葉を久しぶりに思い出し、いつまでも心に残る教育をしてくださったことに胸が熱くなりました。

図書館利用案内

- ★身分証明書（学生証・職員証・運転免許証・健康保険証・看護協会の会員証等）をご持参のうえ、カウンターにお申し出ください。
 - ★卒業後も、資料の貸出ができます。卒業後の初回貸出時に再登録を行います。免許証等の現住所の確認できるものをご持参ください。
 - ★次の要件をすべて満たす方には、図書の出借ができます。
 1. 図書館の資料を利用し、専門的な調査・研究を行う方。
 2. 現在、看護・保健医療関係業務に従事している。
 3. 他大学・専門学校等に在学中でない。
- 貸出冊数：図書のみ 3 冊
貸出期間：2 週間
書籍の他、医中誌などの文献の検索も可能です。ぜひ、ご利用ください！

【連絡先変更登録のお願い】

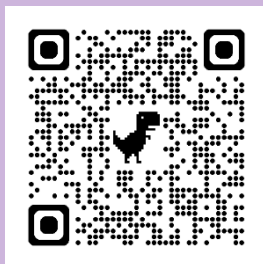
会員情報の更新・新規登録は愛看アラムナイ HP にある「会員情報変更・登録届」のフォームからお願いします。愛看アラムナイ事務局からのメールが迷惑メールや拒否にならないよう、あらかじめ@ican.nagoya のドメインを受信できるよう設定いただきたく、ご協力をお願いいたします。

★お知らせ★★★

**ニュースレターに関する
アンケートのお願い**

会員の皆様のニーズもふまえて、より良いニュースレターを作成していきたいと思っております。今後のニュースレターで知りたいことなどについて、以下の URL もしくは 2 次元バーコードより、アンケートにご回答ください。ご協力をお願いいたします。

URL：<https://forms.gle/iDAuhJ4v6mawgSSs6>



編集後記

- ◇ 先日の台風 15 号、この近辺では岡崎市が浸水による被害があったと聞きました。被害にあわれた皆さまにお見舞い申し上げます。周年事業の準備は、着々と進んでいます。広報の私たちも、SNS を活用し、幅広い年代の同窓生の皆様の目に届くように祈りながら、更新していきますので、お楽しみに！（渡邊）
- ◇ ニュースレター第 4 号が無事に発行できました。今年度は特に SNS を中心として、Web を活用した広報に力を入れています。この機会にぜひ会員の皆さんでも SNS をフォローしてください。同級生が意外と SNS でチェックしてくれていたのを知り、とても嬉しくなりました。これからも頑張ります！（兒玉）

